

元気で歩こう会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

元気で歩こう会 野川を下るファイナルウォーク 2

1・6・20

東久留米駅…武蔵小金井駅…吉祥寺駅…下北沢駅…喜多見駅 ⇒ 次大夫堀公園 ⇒ 仙川合流点 ⇒ 多摩川 ⇒ 合流点 ⇒ 二子玉川駅…東久留米
歩行距離 約6キロ

野川は、国分寺の東恋ヶ窪に端を発し、小金井、三鷹、調布、狛江の各市を経由して、世田谷の多摩川へ注いでいる。

思えば、3月下旬、野川下りを始め、わずか3ヶ月前のことではあるが、振り返れば懐かしいことばかりである。

国分寺の真姿の池からお鷹の道、野川沿いの桜、調布付近の岸辺の夏を思わせる草いきれ、広々とした大河の多摩川に吸い込まれていく野川のエンディング…

“くるくる”的過去の活動紹介欄は、その時の特別な思いを、日々うすれゆくあの時の感動を、思い出させてくれる。ご笑覧あれ。

3月21日NO. 1

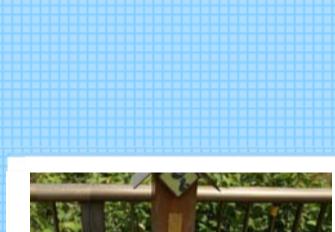
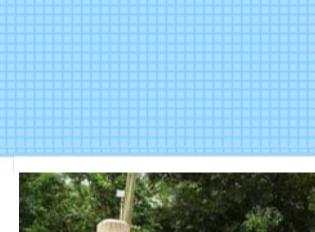
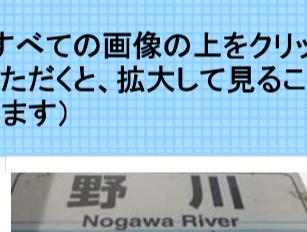
http://kuru2.genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=38920

4月18日NO. 2

http://kuru2.genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=41100

5月23日NO. 3

http://kuru2.genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=43360



麦わら帽が大威張りの夏日。ファイナルの出発点喜多見。

(すべての画像の上をクリックしていただいくと、拡大して見ることができます)



野川は国分寺凱線の湧水を集めながらの川ではあるが、住宅地を通る川ゆえ、その生活排水からの汚濁がなやみの一つ。

400年前に開削された次大夫堀は、水田開発に利用された。今では区立の公園として区民の憩いの広場である。

大正橋の「きしひの路」には野川の水質のこと、生活雑排水のことなどが書かれている。



野川水道橋は、かつては多摩川から取水された水を都心へ送る水道管の橋だったそうで、その長い歴史を残したモニュメントである。

仙川の河口である。仙川は小金井市貫井北町を上端とする20.9キロの河川で、武蔵野、調布、三鷹を経て、ここ世田谷区鎌田で野川と合流している。

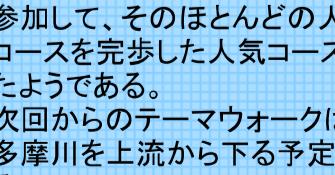
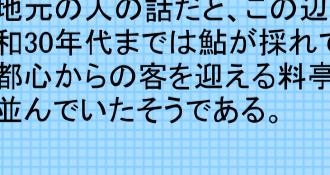
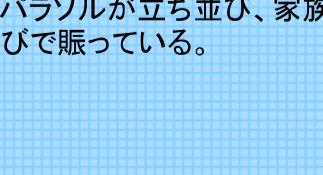
珍しい花である。サボテンの花とみんなが言うが、多肉植物には違いない。大きな木である。



吉澤橋。
関東大震災後の復興のために多摩川から都心まで砂利を運搬していた玉電の鉄道橋のあとである。懐かしい玉電の写真である。

野川の最後の姿。多摩川の広い河川敷に飲み込まれていく。

手前の細い川が野川の流れである。



夏日のせいか川の中洲にはビーチパラソルが立ち並び、家族の水遊びで賑っている。

縁陰をもとめて昼食をする40名。地元の人の話だと、この辺りは昭和30年代までは鮎が採れていて、都心からの客を迎える料亭が立ち並んでいたそうである。

このシリーズ、4回で述べ170名が参加して、そのほとんどの人が全コースを完歩した人気コースであったようである。

次回からのテーマウォークはこの多摩川を上流から下る予定である。

源頭といわれる笠取山(1953m)への登山は完了、奥多摩湖からのプレウォークはすでに始めた。

皆さんと一緒にするのは玉川上水でおなじみの羽村堰からである。7月18日(土)からこの二子玉川までを5回に分けて下る。